



平成 30 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 J X T Gホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄
コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部
問合せ先 財務 I R部 I Rグループマネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

チリ・カセロネス銅鉱山における減損損失に関するお知らせ

当社の連結子会社である SCM Minera Lumina Copper Chile（本社；チリ国サンチャゴ市、以下「MLCC社」）が行うカセロネス銅鉱山事業において、減損損失が発生する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の内容について

MLCC社が事業を行うチリ・カセロネス銅鉱山（当社権益比率 51.5%、*）については、選鉱工程（最終的な銅分の採収工程）において一部オペレーションがまだ安定しておらず生産コストが割高になっていることや、フル操業体制の早期確立に向けた諸費用の増加などにより、当期の事業収支は引き続き損失となる見込みです。今般、これら操業全般の状況に加え、冬季における気象状況に起因する操業低下リスクや環境対応コストの増加、鉱石ピット内の断層による採掘計画の変更やこれらを踏まえた長期生産計画の見直しなどを織込み、資産の再評価を実施した結果、減損損失を約 1,250 億円計上する見込みです。

なお、粗鉱処理量は既に改善・安定化しており、今後、選鉱工程における技術面・習熟度の改善による銅生産量の増加や、採鉱工程、間接部門も含めた全社的な生産性の向上および一層のコスト削減に向けて取り組みを強化していくことにより、翌期以降、収益性は改善される見通しです。

（* 当社子会社の J X 金属株式会社および三井金属鉱業株式会社の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社が、三井物産株式会社と共同出資しているプロジェクト。）

<当社連結業績への影響>

営業利益への影響額 約 1,250 億円
親会社所有者に帰属する当期利益への影響額 約 650 億円

2. 連結業績に与える影響

本件の業績影響につきましては、本日公表いたしました「平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

以 上